



▼東京2020マスコットとふれあった児童たち



©2010熊本県くまモン

児童たちは、東京2020クイズに挑戦したり、前田さんによるバドミントンの授業を受けてスマッシュに挑戦したりしました。

テニスをしている上妻士郎くん(岩下一区・4年)は、「前田選手みたいに僕はテニスでオリンピックに出てみたい」と感想を話しました。

東京2020マスコットが登場

甲佐小でイベント開催

2月8日(金) 甲佐小学校で、東京2020マスコット・アスリート訪問イベントが行われました。

同イベントは、2020年東京オリンピック・パラリンピックの公式マスコットを決める投票に参加した児童へお礼を伝えるため、同競技大会組織委員会が主催し、全国を巡っているもの。同大会マスコットの「ミライトワ」「ソメイテイ」、バドミントン競技で2大会連続オリンピックに出場した前田美順さんが同小を訪問し、駆け付けたくまモンとともに、児童や保護者など約250人と交流しました。

野球とサッカーを楽しもう

甲佐町スポーツ教室を開催

2月23日(土) 町内2会場で、甲佐町スポーツ教室が開催されました。

同教室は、小学生の基本技能の習得や心身の鍛錬を図るとともに、親ぼくを深めることを目的に、町教育委員会が主催。

甲佐高校では、同高野球部を講師に野球教室を開催し、59人が参加。高校生に教わりながら、投球や打撃を実践しました。

また甲佐小学校では、女子サッカーの熊本ルネサンスフットボールクラブの選手を講師にサッカー教室を開催、44人が参加しました。



▲甲佐小で行われたサッカー教室



◀感謝状を贈呈された松永区長(右)

介護予防を地域で実践

中横田区が優良功労者表彰

2月6日(水) 県上益城地域振興局優良功労者表彰が同局で行われ、中横田区が地域の振興・発展部門で受賞しました。

同表彰は、管内の地域振興の分野などで模範となる団体または個人を表彰するもの。

同区(松永博文区長96世帯)は、住民主体で「いきいき百歳体操」などの介護予防に取り組み、サロンを自主運営。同局が実施する「地域づくりによる介護予防」を推進するための研修会などで先進モデルとして講師や視察受け入れを行い、住民主体による介護予防の啓発・推進に貢献。その功績が高く評価され、受賞となりました。

九州大会に出場

ママさんバレーボール「甲佐わかあゆ」

1月26日（土）・27日（日）玉名市で、全国ママさんバレーボール九州ブロック大会が行われ、「甲佐わかあゆ」チームが、県代表として出場しました。

同チームは、昨年5月に行われた県予選で3位に入賞し、同大会に出場が決定。九州各県の3位チームが対戦するグループで、3位に入賞しました。

監督の古田久里子さん（大町区）は「5月には県大会があるので、チーム一丸となって全国大会を目指します」と話しました。



▲九州大会に出場した「甲佐わかあゆ」チーム

昔の暮らしを体感して

2月19日（火）乙女小で民具体験学習



▲てんびん棒を使ってバケツに入った水をこぼれないように慎重に運ぶ児童たち



▲福島室長（左）から奥名管理者に目録を贈呈

高規格救急自動車を寄贈

アステラス製薬㈱から上益城消防組合へ

2月15日（金）御船町の上益城消防組合消防本部で、高規格救急自動車の贈呈式が行われました。

アステラス製薬㈱が地域社会貢献の一環として全国に高規格救急自動車の贈呈を続けており、今回が243台目。

式典では、同社九州支店統括室の福島徹室長から、同組合管理者の奥名克美町長に目録が贈呈され、『アステラス上益城号』と命名されました。

奥名町長は「寄贈いただいた高規格救急自動車を有効に活用するとともに、救命率の向上を目標に救急業務に取り組んでいきます」とお礼を述べました。

2月19日（火）乙女小学校（松田秀喜校長121人）で、民具体験学習が行われました。

同学習は、3年生の社会科で学習する昔の道具を実際に見て使い、昔の暮らしを実感するとともに今の暮らしを考えるため、県博物館ネットワークセンターが開催。3年生23人が参加しました。

児童たちははじめに民具についての授業を受け、時代とともにかまどがどのように変化していったかなどを学びました。講師の國本信夫さんは、「暮らしが少しでも快適になるように工夫して、今の便利な暮らしになっています。これからはみんなが快適に暮らせるようにしていきましょう」と話しました。

次に民具を使って洗濯を体験しました。てんびん棒で水の入ったバケツを慎重に運び、水をたらいに入れ、洗濯板を使ってタオルなどを洗濯。金属の器に炭火を入れた火熨斗（ひのし）でアイロンをかけました。

森田めぐみさん（船津区）は、「時間もかかるし、大変だと思いました」と感想を話しました。